

小学校社会科や  
総合的な学習の時間  
などで活用出来る

# 交通環境学習 手引書

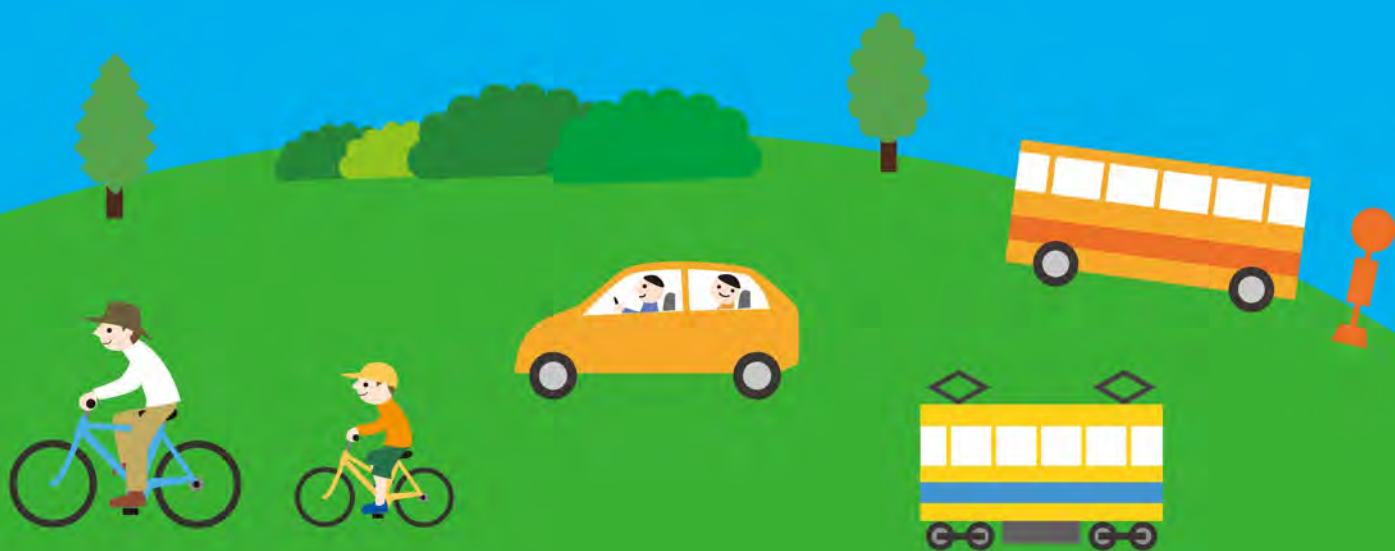
概要版



公益財団法人

交通エコロジー・モビリティ財団

Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation



## 交通環境学習とは

### 交通環境学習とは

一人ひとりの移動手段や社会全体の交通を「人や社会、環境にやさしい」という観点から見直し、改善していくために自発的な行動を取れるような人間を育てていくことを目指した教育活動です。

私たちの日常生活は、「クルマ」に支えられています。「クルマ」はとても便利な乗り物ですが、みんなが「クルマ」に頼り、必要以上に利用し続けてきた結果、私たちの身の回りで数々の問題が生じています。

- ・ 地球温暖化、騒音、空気汚染等の環境問題
- ・ 慢性的な交通渋滞、高齢者で増加している交通事故等の社会問題
- ・ バスや鉄道など公共交通の利用者数減少に伴う地域交通の衰退
- ・ 地域交通の衰退による買い物や通院等の外出機会の低下 などです。

今では、たとえ近所のコンビニへの買い物であっても“当たり前”のように「クルマ」を利用する人が少なくありません。児童たちも同じく“当たり前”の「クルマ」利用に慣れてしまっています。さらに言うと、児童たちに移動手段について考える機会を提供できていないのが実態です。

しかしながら、本当にこの“当たり前”に慣れたままで良いのでしょうか。

一人ひとりがこうした課題に気づき、自らの行動を見直していくことは、その個人にとって、また社会全体にとっても重要です。この気づき・実践を戦略的に促進する取り組みを「モビリティ・マネジメント」と言います

※モビリティ・マネジメント（MM）とは

一人ひとりの移動や、まちや地域の交通の在り方を、工夫を重ねながらよりよいものに改善していく取り組みのことです。

国や土木学会が中心となって普及に努めており、全国各地で住民や、学校、職場等での取り組みが進んでいます。

本書で紹介する「交通環境学習」は、モビリティ・マネジメントの分野の1つです。学校教育の過程において、世間の“当たり前”に対して、児童たちが一歩引いた視点から問題や課題に気づき、自分で考え、行動を起こすことや、こうした自らの行動が社会問題の解決や地域の発展に結びつくことを実感することで、人、社会、環境に配慮でき、主体的に行動できる人間を育てることを目的としています。

## 交通環境学習が目指すもの

交通環境学習では、交通に関する知識を習得・活用しながら、個人にも社会、環境にもやさしい移動の在り方を探究し、望ましい交通社会の実現に向けて自発的に働きかける能力の育成を目指します。

この能力は、具体的には「知識」「能力」「態度」の3つの要素から構成されます。公的かつ社会的な活動に私たち市民一人ひとりが参画することの重要性を認識し、自らも主体的に関与・参画し、貢献する能力の育成も期待できるのが、交通環境学習の特徴です。

### 自分と交通社会の関係性を調べたり、検討したりする能力

- 交通社会や自分と交通社会のかかわりについて、必要な資料を収集・選択し、適切に活用する能力
- 自分の交通移動の特徴を理解し、その社会への影響について洞察・検討する能力

### 交通社会に関する知識を適切に活用し判断する能力

- 自分や身近な人々の移動が人にも社会にも望ましい移動になるためには、どのような行動や取り組みが必要であるかを考え、判断する能力

## 知識

望ましい交通社会を実現するために必要な知識

### 交通社会に関する一般的な知識

- 生活と社会における交通や移動の意義や働き
- 自動車利用の社会への影響（排気ガスによる地球環境への影響など）
- 公共交通や自転車・徒歩の意義（地球環境や健康にやさしいこと、高齢者や生徒・学生にとって欠くことのできない移動の足であることなど）
- 交通に係わる行政・交通機関の働き、交通に係わる法や仕組み など

### 私たちの身のまわりの交通に関する知識

- 身近な地域にある交通の様子
- 公共交通の路線や料金・時刻・所要時間・乗降・運賃支払い方法
- 自身の毎日の移動の特徴やそれにとまなう地球環境への影響 など

## 能力

交通社会に関する知識を適切に活用しながら、人と社会・環境の観点から適切に判断する能力

## 態度

望ましい交通社会の実現に向けて自発的に行動しようとしたり、働きかけようとしたりする態度

### 公的な社会的諸活動に主体的に関与し、貢献しようとする態度

- 自分や身近な人々の移動が個人にも社会にも望ましい移動になるように自発的に行動しようとしたり、働きかけようとしたりする態度
- 望ましい交通システムの在り方について多角的に追究し考察しようとする態度
- 公共心、道徳心、市民性(シティズンシップ) など

## よりよい社会の形成に主体的に参画する能力

公的かつ社会的な活動に私たち一人ひとりが参画することの重要性を認識し、自らも主体的に関与・参画し、貢献する能力

「モビリティ・マネジメント教育のすすめ」

(発行：交通エコロジー・モビリティ財団) より

## 学校教育における交通環境学習の位置付け

### <学習指導要領との親和性>

義務教育の目標と交通環境学習が目指す「よりよい社会の形成に主体的に参画する能力」はほぼ同じであり、交通環境学習を取り入れることで、学校教育の目標への到達が容易になります。

### <どのような授業で活用するか>

交通環境学習のキーワードである「交通」は、人や乗り物が行き来することや、人や物が移動することを意味します。その視点で学習指導要領を見ると、さまざまな教科や領域で単元開発が可能です。

特に、社会科・理科・生活科といった教科学習、さらには、特別活動や総合的な学習の時間において、交通環境学習の導入効果は高いと言えます。その他にも、例えば道徳の授業での回りの人を思いやることが出来る人間育成、算数の授業での人口やバス利用者数、CO<sub>2</sub>排出量など自分たちの生活に関わる指標を用いたグラフの見方や計算といった学習へも応用可能です。

次の表は、全国で取り組まれている小学校の事例を参考に、各学年における社会科の授業で実践できる交通環境学習をまとめたものです。このように、多くの内容や単元で、交通環境学習は実践可能といえます。

表一 社会科における交通環境学習との関連性

学年	学習指導要領内容	交通環境学習にかかる単元事例
第3学年 第4学年 (地域学習)	(1)身近な地域と市の様子	○地域や市内の交通の様子 ○公共交通を利用したまちの探検 ○公共交通と土地利用のされ方
	(2)生産や販売	○商品の仕入・生産物の出荷と物流 ○商品の産地しらべ ○買い物する店や品物と交通
	(3)飲料水・電気・ガス・廃棄物処理	
	(4)災害や事故の防止	○災害による交通への影響 ○交通事故危険箇所と道路整備の問題点
	(5)地域の人々の生活の変化と地域の先人の働き	○昔から残るみち ○生活の変化と交通の移り変わり
	(6)県(都・道・府)の様子	○交通網の整備と県(都・道・府)の発展 ○世界や他地域との交通によるつながり
第5学年 (国土・産業学習)	(1)国土の自然などの様子	
	(2)我が国の農業や水産業	○生産地と消費地を結ぶ物流の役割
	(3)我が国の工業生産	○環境に配慮した自動車の生産 ○工業生産を支える物流の役割
	(4)我が国の情報産業や情報化した社会	○暮らしを支える公共交通検索システム
第6学年 (歴史・政治学習)	(1)我が国の歴史	
	(2)我が国の政治の働き	○公共交通と税金の使い道 ○環境に配慮した交通まちづくり
	(3)世界の中の日本の役割	

## 交通環境学習の効果

学校教育に交通環境学習を導入することで、単に交通や移動手段を学ぶだけではなく、自分と社会との関わりや、地域や社会の仕組み、暮らしの中で生じている社会問題などを理解し、考え、行動するきっかけとなります。

交通環境学習の導入には次のような効果があります。

☆より環境問題などの身の回りの問題が理解でき、考えることができる

☆より分かりやすく地域や社会の仕組みが理解できる

☆より社会との関わりや公的な視点を身につけられる

### 具体的な効果（札幌市立小学校の先生方の意見より）

札幌市では、平成 23 年より、社会科の研究グループが単元開発や研究授業を行うなど、積極的に関連授業に取り組まれています。

#### 自ら学び、考える力が身につきます！

- 3年生の「昔の道具とくらし」の授業で、洗濯板や石炭ストーブなどの昔の道具を紹介しても、子ども達にはわかりにくい。その点バスや鉄道はハードが今も昔もそのまま残っているので、昔と今のつながりが見え、さらに今後、子どもたちが年をとっても続くとなれば、未来まで見えるという良さがあります。子どもたちの親世代や、祖父母世代からのつながりが学べる良い教材だと思います。

#### 地域や社会の仕組みが深く理解できます！

- 3年生の「身近な地域と市の様子」の授業では、地図を使った公共施設の配置と、まちの中を走る公共交通を別々に学習することが一般的ですが、これらを結びつけることで、より大切な部分が見えるため、深い授業になりました。
- 「暮らしの中の政治」の授業では、公共交通を教材とすることで、子どもたちに見えにくい税金がわかりやすい授業になりました。

#### 社会とのかかわりが身につきます！地域への愛着が生まれます！

- 交通環境学習に取り組むことで、自分の住んでいる町への愛着をもてるようになります。物心ついた時から走っているバスや鉄道が、この学習によって、ここにバス停があるのは誰かが考えたからだとか、今も鉄道が走っているのはこれまで繋いできた人達がいたためであるとか、見えなかった部分がたくさん見え、自分も大人になったら地域に貢献しようという気持ちが育まれると思います。

## 交通環境学習の実践事例

下の表は札幌市、仙台市、富山市、金沢市、京都府、川西市の小学校で取り組まれている交通環境学習の実践事例の一覧です。札幌市の事例には、社会科の先生方が開発された単元の学習指導計画があり、教員の皆さまにもわかりやすい内容となっています。これらの実践事例は

モビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）ポータルサイト

(<http://www.mm-education.jp/tebiki/index.html>) で詳しく紹介しています。

本書では、そのうち5つの事例について、概要を紹介します。

事例番号	実践した学年						単元・プログラム名	実践した科目 ※( )でも対応可能	実践地域	指導計画
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生				
1	○						☆でんしゃのトリー	道徳	札幌市	○
2	○	○					☆ピン・ポン・バスでつながるわたしたち	生活、道徳	川西市	
3		○					スノーランド	生活	札幌市	○
4		○					科学かんに出かけよう	生活科(道徳)	仙台市	○
5		○					みんなで行くこうよつかおうよ	生活科(道徳)	仙台市	○
6		○	○	○	○	○	☆私たちの川西市(バス編)	生活、総合、道徳	川西市	
7			○				もっと知りたいみんなのまち	社会	札幌市	○
8			○				わたしたちの市のようす	社会	札幌市	○
9			○				昔の道具とくらし(1)	社会	札幌市	○
10			○				昔の道具とくらし(2)	社会	札幌市	○
11			○				☆地球温暖化と交通	総合	仙台市	○
12			○				市の様子「富山市のいろいろな乗り物」	社会	富山市	○
13			○	○	○	○	☆私たちの川西市(鉄道編)	社会、総合	川西市	
14			○	○	○	○	☆買い物から社会を考える	社会、総合	川西市	
15			○	○	○		☆バス車両の工夫見学	社会、総合	京都府	
16			○	○	○	○	☆交通すごろく	生活、総合、道徳	川西市	
27					○		くらしを支える情報	社会	札幌市	○
28					○		環境について考えよう	総合	札幌市	○
29					○		環境 HOTCOM	総合	札幌市	○
30					○		生活環境を守る	社会	札幌市	○
31					○		パネル討論会をしよう	国語	仙台市	○
32					○	○	☆環境こやさしい交通機関の使い方を考えよう!	総合	富山市	○
33					○		☆物流車両の工夫見学	社会、総合	京都府	
34					○		暮らしの中の政治(1)	社会	札幌市	○
35					○		暮らしの中の政治(2)	社会	札幌市	○

☆は1～2コマだけで実施できるプログラム（総合的な学習の時間などへ展開可能）

○の事例には、各地の先生方が作成した「指導案」を掲載しています

6年生 実践事例 34

「暮らしの中の政治」(1)

指導目標	<p>◎日常生活における政治の働きと役割に関心を持ち、意欲的に調べている。</p> <p>◎政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考え、適切に表現している。</p> <p>◎国民生活と地方公共団体や国の政治とのかかわりについて調査し、基礎的資料を活用して調べている。</p> <p>◎国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していることを理解している。</p>
公共交通を教材とする利点	<p>市がバス事業の維持に税金を使っている意味を考える活動を通じて、「バス路線を守ることが市民の暮らしを守ることににつながる」ことに気づき、市民一人ひとりの暮らしに租税が大切な役割を果たしていることがわかる。</p>
対象学年	6年生
対応教科	社会科
標準校時	5コマ
学習構成	<div style="border: 1px solid #92d050; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>1. 身近な制度を知る</b></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に載っている世田谷区の新BOP制度について考え、子どもの遊び、交流、生活が一層豊かに広がることを願って、制度が始まったことを知る。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid #92d050; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>2. 新BOPはどのようにして実現したのだろう</b></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新BOP制度を通して、住民の願いから計画案や予算案ができ、議会で審議され実現する仕組みや安心して暮らせる社会のあり方を学ぶ。</li> <li>・政治への住民の積極的な参加が大切であることを理解する。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid #92d050; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>3. 住民と政治のつながり</b></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会で議員たちが住民の生活にかかわる事を話し合い、必要性を判断して決議していることを知る。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid #92d050; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>4. 税金のはたらきと私たちの暮らし</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税金がどのように納められ、使われているかを知る。</li> <li>・札幌市が赤字のバス路線に税金を投入している意味や、身の回りで使われている税金について考えることで、誰もが税金の恩恵を受けていることを学ぶ。</li> </ul> </div>

※新 BOP 制度とは、親の就労状況にかかわらず、小学校のすべての児童を対象とした全児童対策事業と、放課後児童健全育成事業を一体化した世田谷区の事業。「BOP」は、「Base Of Playing : 遊びの基地」の略

札幌らしい交通環境学習とは、「MM※教育」に着目し、「交通」の中に存在する「社会的ジレンマ問題」を通じ、広く、環境意識や公共の精神を醸成することを目的としている。初等教育における学習教材として適することが、これまでの研究事例等で明らかとなっている。

※「MM」とは、一人ひとりの移動（モビリティ）が、個人的にも社会的にも望ましい方向へ自発的に変化することを促すコミュニケーションを中心とした交通施策。

## ■実施例

実施校 札幌市立屯田小学校

実施日 2012年11月27日（火） 6校時

科目 / 社会「暮らしの中の政治～身近な暮らしと政治～」  
単元名 [6時間扱い 本時6/6]

指導者 斉藤 健一

## [指導計画]

### 1.教材にかかわって

#### ①学習指導要領の位置づけ

[小学校学習指導要領解説 社会編]

##### ●目標と内容（2）

ア 国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること。

##### ●内容の取扱い（2）

イ 国会などの議会政治や選挙の意味、国会と内閣と裁判所の三権相互の関連、国民の司法参加、租税の役割などについても扱うようにすること。

「租税の役割」については、国や県、市によって行われている社会保障、災害復旧の取組、地域の開発などに必要な費用は租税によってまかなわれていること、それらは国民によって納められていることなどを理解し、租税が大切な役割を果たしていることを考えることができるようにする。（中略）国民の義務については、納税の義務を取り上げ、税金が国民生活の向上と安定に使われていることを理解できるようにする必要がある。

#### ②モビリティ・マネジメント教育の視点から

バスや鉄道などの公共交通機関は、車を運転できない子どもや高齢者にとって必要不可欠な移動手段である。特に札幌では冬場の積雪時に公共交通機関が大きな役割を果たしている。

重要な役割があるはずの公共交通機関であるが、近年のモータリゼーションの影響で利用客は減少の一途をたどっている。その中でもバス利用者数の減少率は他の公共交通機関と比較しても大きい。現在、税金で赤字を補填しているからバス路線が維持できている。

このままの状況では将来的に現在と同じバス路線を維持できないのは明らかである。これは、子どもや高齢者だけの問題ではない。将来、自分が高齢者になった時、公共交通機関が無くなっている可能性がある。困るのは札幌市民一人ひとりなのである。

そこで、赤字のバス路線に税金を補填している事例を取り上げ、その意味を明らかにする。すると、子どもは公共交通機関の価値を改めて見出すことができる。バスという公共交通機関を取り扱うことで、税金が国民生活の向上と安定に使われていることを理解することができるのである。

#### ③教科書の活用

本実践は税金について学ぶ1時間である。教科書を活用し、「どのような税金があるのか」「何に使われているのか」をおさえる必要がある。そして、今まで身近で当たり前だと思っていたことに税金がかかっていることを学び、税金の大切さを実感するのである。



## 2.単元にかかわって

### ●単元の目標

- ・日常生活における政治の働きと役割に関心を持ち、意欲的に調べている。
- ・政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考え、適切に表現している。
- ・国民生活と地方公共団体や国の政治とのかかわりについて調査したり、基礎的資料を活用して調べている。
- ・国民生活には、地方公共団体や国の政治の働きが反映していることを理解している。

### ●単元の構成

<p>身近な制度を知る・学ぶ【1時間】</p>	<p style="text-align: center;">子どもの主な活動</p> <p>なぜ世田谷区では新BOPの制度を始めたのだろう</p> <p style="text-align: center;">区立小学校全てで実施 区内小学生80%以上が登録</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">—保護者—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心できる</li> <li>・学校だと安全</li> <li>・無料で助かる</li> <li>・異学年交流</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">—地域—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気な子どもたちと触れ合うことができる</li> <li>・子どもを守る</li> </ul> </div> </div> <p style="text-align: center;">—世田谷区—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちがのびのびと遊ぶ場</li> <li>・出会い、交流する機関をつくる</li> </ul> <p>【子どもの遊び・交流・生活が一層豊かに広がることを願っている】</p>	<p>住民と政治のつながりを知る・学ぶ【1時間】</p>	<p style="text-align: center;">子どもの主な活動</p> <p>議員や議会はどのようなはたらきをしているのだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●計画案を審議</li> <li>●予算案を審議</li> </ul> <p style="text-align: center;">・ゴミ処理・防災・交通・福祉・除雪</p> <p>「それは本当に必要な?」 「それは本当に安全なの?」</p> <p style="text-align: center; background-color: black; color: white; padding: 5px;">最終決定をする責任がある!</p> <p>【議会は、住民の生活にかかわることを話し合い、判断して議決している。】</p>
<p>住民の願いが実現する仕組みや、安心して暮らせ卯社会のあり方を学ぶ【2時間】</p>	<p>新BOPはどのようにして実現したのだろう</p> <div style="text-align: center;"> <p>住民の要望</p> <p>↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>区役所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画案をつくる</li> <li>・予算案をつくる</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>区議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画案を審議</li> <li>・予算案を審議</li> </ul> </div> </div> <p>↓</p> <p>計画の決定</p> </div> <p>【住民の願いから、計画案や予算案ができ、議会で審議され実現する】</p> <p style="text-align: center; background-color: yellow;">住民の積極的な参加が大切</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●国分寺崖線</li> <li>・区と区民が環境を守る取組を一緒に進めている。</li> <li>・子どもたちも里山の管理をしている。</li> </ul>	<p>税金のはたらきとわたしたちの暮らしとの関係を知る・学ぶ【2時間】</p>	<p>税金はどのように納められ、どのように使われているのだろう</p> <p style="text-align: center;">所得税・法人税・消費税・住民税・ 固定資産税 納める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設・安全で健康な暮らし</li> <li>・平等に教育を受けられるように</li> </ul> <p style="text-align: center; background-color: black; color: white; padding: 5px;">なぜ札幌市は、利用者の少ない赤字路線に税金を投入するのか</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">札幌市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動手段の確保</li> <li>・暮らしやすいまちづくり</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">市民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活が不便</li> <li>・車以外の移動手段が無い</li> </ul> </div> </div> <p style="text-align: center;">2000万円も使われるのは不公平?</p> <p style="text-align: center; background-color: yellow;">誰もかがどこかで税金の恩恵を受けている</p> <p>【税金を使い、誰もが暮らしやすい社会を実現しようとしている】</p>

### 3. 本時の目標と学習展開

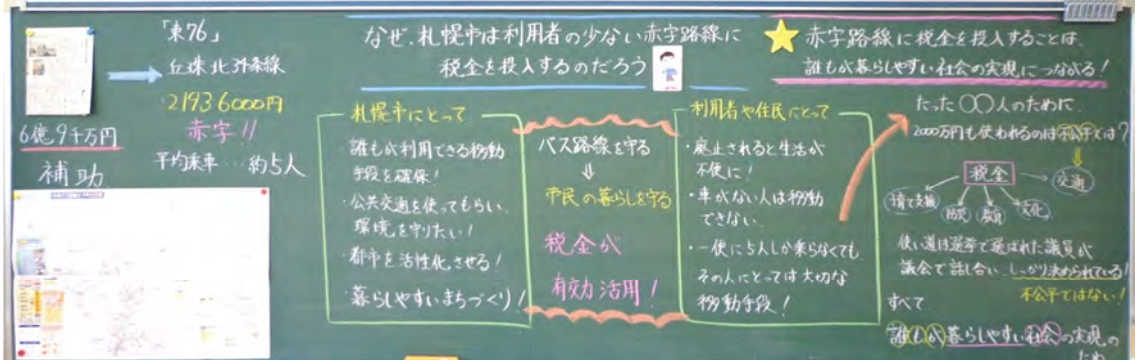
#### ●目標

・札幌市が赤字のバス路線に税金を投入している意味を考える活動を通して、「バス路線を守ることが市民の暮らしを守ることにつながる」ことに気づき、市民一人一人の暮らしに租税が大切な役割を果たしていることがわかる。(思考・判断・表現)

#### ●展開

学習展開	教師のかかわり
<p>(前時まで) 教科書の東京都世田谷区の事例をもとに、「住民の願いをきき、誰もが暮らしやすい社会をつくるのが政治の大切な仕事であること」、「誰もが暮らしやすい社会をつくるには住民の政治参加が必要であること」を学んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事を提示する。</li> <li>・補助対象である【東76】のバス路線を事例として提示する。</li> </ul>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>税金をこんなに赤字路線に投入しているの!?</p> <p>【北海道新聞】 タ刊11面 <b>赤字バス補助見込</b> <b>126路線</b> 2012.10.4 発行</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p><b>東76路線に赤字分を全額補助!</b></p>  <p>【東76】 丘珠北34条線 2193万6千円赤字 平均乗車密度 約5人</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>さとらんどやモエシ沼公園に行く身近な路線にも税金が投入されていたんだ!!</p> <p>そんなに赤字があるの!!</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤字額や補助額、平均乗車数を提示する。</li> <li>・廃止してもいいのに、なぜ税金を投入してまで路線維持を図るのか、問いをもたせていく。</li> </ul>
<p><b>なぜ札幌市は、利用者の少ない赤字路線に税金を投入するのだろう。</b></p>	
<p><b>札幌市にとって</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが利用できる移動手段を確保</li> <li>・公共交通を使ってもらい環境を守る</li> <li>・都市を活性化させる</li> <li>・暮らしやすいまちづくり</li> </ul> <p><b>市民の暮らしを守る</b></p>	<p><b>利用者や住民にとって</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活が不便になる</li> <li>・バスが無くなったら困る</li> <li>・車がない人は移動できない</li> <li>・地下鉄駅からタクシーを利用するしかなくなる</li> </ul> <p><b>バスは生活の一部!</b></p>
<div style="text-align: center;"> <p><b>バス路線を守るために税金が有効利用されているんだ!!</b></p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 30%;"> <p>この路線に乗らない人が納めた税金が2000万円も使われるのは不公平ではないだろうか。</p> <p>関係のない地域の住民が納めた税金も使われている。</p> <p><b>コンサートホールキタ</b></p>  </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>札幌市民 190万人全員が使う施設はない。</p> <p>小学生一人にも、一年間で約97万円の税金が使われている。</p> <p>札幌市民一人一人がよりよい暮らしができるように税金の使い道が決められている!!</p> <p><b>誰がどこかで恩恵を受けているので不公平ではない</b></p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>一部のの人に利益があるのは不公平なのではないか。</p> <p><b>屯田北児童会館</b></p>  </div> </div>	
<p><b>赤字路線に税金を投入することは、誰もが暮らしやすい社会の実現につながる。</b></p>	

板書計画



The chalkboard plan includes the following content:

- 「東76」** 丘珠北34条線: 21936000円 赤字!! 平均乗車...約5人
- 札幌市にとって:** 誰もが利用できる移動手段を確保! 公共交通を使ってもらい環境を守りたい! 都市を活性化させる! 暮らしやすいまちづくり!
- 利用者や住民にとって:** 生活が不便になる! 車がない人は移動できない! 一部の人は移動できるけど、その人にとっては大切な移動手段!
- 税金の役割:** 税金が有効活用! 市民の暮らしを守る
- 不公平の問い:** この路線に乗らない人が納めた税金が2000万円も使われるのは不公平ではないだろうか? 関係のない地域の住民が納めた税金も使われている。一部のの人に利益があるのは不公平なのではないか?
- 結論:** 誰もがどこかで恩恵を受けているので不公平ではない。誰もが暮らしやすい社会の実現のため。


## 「わたしたちの市のようす」

指導目標	<p>◎市の土地の様子や、各区の様子について調べようとする。</p> <p>◎市内の主な公共施設や観光施設について調べ、役割や場所などについて表現を工夫してまとめることができる。</p> <p>◎施設を利用するいろいろな人のために、交通の利便性を考えて街がつくられていることについて考えることができる。</p> <p>◎市の地形の特徴や、各区の様子、交通の様子が分かる。</p>
公共交通を教材とする利点	<p>交通の様子を調べる中で、自分たちの住んでいる市と近隣市との結びつきに気づき、市に公共交通があることのよさを考えることを通じて、市の公共交通は自分たちの生活の足になっていることを考えることができる。</p>
対象学年	3 年生
対応教科	社会科
標準校時	10 コマ
学習構成	<div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>1. 市の地形のひみつを調べる</b></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・航空写真等を用いて市の地形の特徴を調べ、場所によってどのような違いがあるか考える。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>2. それぞれの地域の特徴を見つける</b></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地のつくりや公共施設、観光施設など、市内のそれぞれの地域（区）の特徴を調べて、他の地域との違いを考える。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>3. 市の公共施設と公共交通</b></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下鉄沿線に公共施設や観光施設が多いことを知る。</li> <li>・公共交通には、地下鉄の他にバスもあることに気づき、バス停の数の多さを学習することでバスのよさを考える。</li> <li>・地下鉄とバスがいろいろな場所に連絡しており、市民の生活を便利にしていることに気付く。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>4. 市の自慢カードを作成し、発表する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の自慢カードを作成し、みんなに発表する。</li> </ul> </div>

## 「買い物から社会を考える」

指導目標	<p>◎昔と今とで、物価、身の回りの食材、流通が変化していることを知っている。</p> <p>◎買い物などの日常生活の工夫で、CO<sub>2</sub>排出量が減らせることが理解できる。</p>
流通（交通手段）を教材とする利点	<p>フードマイレージゲーム（買い物キット）を使って、昔と今の献立を考え、物価や食材、流通（物流の手段）等の違いを発見することで、身近な生活の視点から地産地消の大切さや環境問題について気づくことができる。</p> <p>ゲーム形式の授業であり、子どもたちの高い取組意欲が期待できる。</p>
対象学年	3・4・5年生 ※6年生でも可
対応教科	社会科
標準校時	2コマ
学習構成	<div style="border: 1px solid #92d050; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>1. 今日の夕食を作ろう！</b></p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">↓</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・“1970年グループ”と“現代グループ”に分かれ、それぞれの買い物キットを使って、夕食の買い物をする。具体的には、まず買い物先と乗りものを選び、その後、食材カードを使って、決められた予算内で夕食の買い物をする。</li> <li>・買い物した食材を使って、夕食の絵を描く。</li> <li>・グループごとに夕食メニューの発表をする。</li> </ul> </div> </div> <div style="border: 1px solid #92d050; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>2. 食はどこからどうやって運ばれてくるのだろう</b></p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">↓</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選んだ食材カードの裏のシールを産地別に日本地図に貼り、昔と現在の生産地の変化に気づく。</li> <li>・食材カードの裏のフードマイレージカードのCO<sub>2</sub>排出量を計算し、近場の食材を選ぶことで環境負荷が減ることに気づく。</li> </ul> </div> </div> <div style="border: 1px solid #92d050; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>3. 望ましい交通社会をつくるには何ができるだろう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境にやさしい買い物のために、自分たちにどのようなことができるかを考える。</li> </ul> </div>

## 「バス車両の工夫見学」

指導目標	<p>◎バス車両の見学を通じて、地域の生活を支えるバスの役割を学ぶ。</p> <p>◎地域の人々の移動を支えるバスに対して、自分にできることを考える。</p>
公共交通を教材とする利点	<p>バス車両の見学を通じて、地域の生活を支えるバスの役割を学ぶとともに、高齢者などの移動を支えるバスを残すための自分たちの行動について考えることができる。バスと自家用車の違いから、交通と環境との関わりを学ぶことができる。体験型であるため、子どもたちの高い取組意欲が期待できる。</p>
対象学年	3・4・5年生
対応教科	社会科、総合的な学習
標準校時	2コマ
学習構成	<p><b>1. 地域を支えるバス・色々な人が利用するバス</b></p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスはどこを走り、バスでどこに行くことができるのか、どんな人が利用するのかを知る。</li> <li>・また、バスの設備は、様々な人が利用するために必要なものであることを知る。</li> </ul> <p><b>2. バス車両見学 ※バス事業者との連携</b></p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際にバス車両を見学することで、車両外側、内部、運転席等、バスにはどんな工夫（乗車口のマーク、インターホン、バックカメラ、スロープ、優先席、運賃表など）がされているのかを観察する。</li> </ul> <p><b>3. まとめ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車両見学で気づいたことを発表し、バスは地域にとって重要であることや環境にもやさしいことを理解する。</li> <li>・地域でバスをうまく利用していくために自分たちにできることを考える。</li> <li>・バスに乗るときのマナーを確認し、気配りの意識を持つ。</li> </ul> 

## 「環境について考えよう」

指導目標	◎身近に起こっている地球温暖化について調べる中から、「車社会」がかかえる問題について自分なりの解決方法を見つけることができる。
公共交通を教材とする利点	地球温暖化を解決するための方法として、普段の生活における交通行動の見直しが有効であることを理解することで、自分の生活の問題点と札幌市の問題点とをつなげることができる。さらに社会（公）を意識して、自分や家族の生活の改善点を考えることができる。
対象学年	5年生
対応教科	総合的な学習の時間
標準校時	15コマ
学習構成	<p>1. 今、地球ではどんなことが起こっているのかな</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海面上昇や異常気象など、地球で起こっている環境問題を学ぶ。</li> </ul> <p>2. 地球温暖化について調べよう</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都議定書、温室効果ガス、海水面の上昇など、地球温暖化に関する事柄について調べる。</li> </ul> <p>3. 自分たちの住む市はどうなのかな？</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平均気温が上昇していることから、自分たちの住む市でも地球温暖化が進んでいることに気づき、自分の生活に目を向ける。</li> </ul> <p>4. 私たちには、どんなことができるのかな？</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習を行いながら「交通日記」を活用し、普段の交通行動におけるCO<sub>2</sub>排出量を知るとともに、CO<sub>2</sub>を減らすためにできることを考える。</li> </ul> <p>5. 市の公共交通について調べよう</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の良い点（環境、市内にいきわたっている）、問題点（赤字、路線・便数の減少）について考え、公共交通を支えるのは市民一人ひとりであることに気付く。</li> </ul> <p>6. 分かったことをポスターでまとめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市のため、環境のために自分にできることをポスターにまとめる。</li> </ul>

## 交通環境学習で活用できる教材

### フードマイレージ（買い物ゲーム）

私たちの身の回りの「モノ」や「食べ物」は、どこか別の場所から運ばれてきたものです。買い物ゲームを通じて、「モノの流れ」を理解しながら、普段の買い物時の少しの工夫が地球温暖化の緩和や地産地消につながることを考えることができます。

#### ゲームの流れ

##### ①今日の夕食を考えて買い物する。

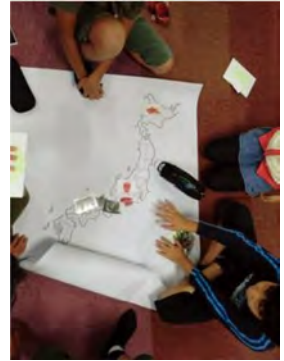
まず買い物先と乗り物を選びます。その後、食材カードを使って、決められた予算内で夕食の買い物をします。

##### ②食はどこからどのように運ばれてくるのだろう

選んだ食材を産地別に日本地図に貼ることで昔と現在の生産地の変化に気づき、CO<sub>2</sub> 排出量を計算することで近場の食材を選ぶことで環境負荷が減ることに気づきます。

##### ③望ましい交通社会をつくるために何ができるだろう

私たちの食生活、買い物行動が環境を通じて社会に影響していることに気づき、日頃からどのような行動がとれるかを考えます。



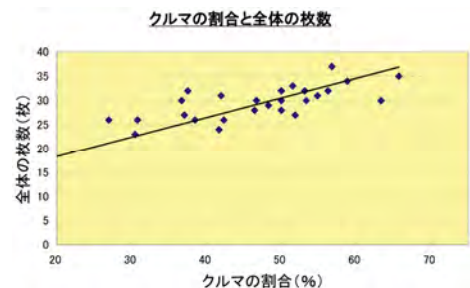
### 交通すごろく

「交通すごろく」ゲームを通じて、公共交通（バス・電車）、クルマを使った移動を擬似体験することで、過度なクルマ利用が環境や社会に与える影響を学び、社会にとってよりよい行動を考えることができます。

#### ゲームのルール

- ◆ 「クルマ」または「電車・バス」カードを出します。
- ◆ 「電車・バス」は必ず3コマ進めますが、「クルマ」は出す人数によって進めるコマ数が変わります。「クルマ」が多いと、渋滞のため進めるコマ数が少なくなります。

ゴールまでの経過（出したカードの枚数と「クルマ」カードの割合）をグラフ化することで、クルマの利用が多いと、カード全体の枚数が多い、すなわち不効率な社会であることや、クルマの利用が多いとCO<sub>2</sub> 排出量が多い、すなわち環境に悪いことを学ぶことができます。



※ゲームの詳細な説明が、モビリティ・マネジメント教育ポータルサイトにあります。  
<http://www.mm-education.jp/pdf/pdf04.pdf>



公益財団法人

交通エコロジー・モビリティ財団

Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation